

B Lab、種子島全体のビヨンド・ゼロカーボンを目指す Co-JUNKAN プラットフォーム研究拠点として「B Lab 種子島」を設置！

B Lab (iU の研究所、 所長 石戸奈々子。以下、B Lab) は、「B Lab 種子島」を設置し、西之表市市役所協力のもと、種子島全体の「ビヨンド・ゼロカーボンを目指す”Co-JUNKAN”プラットフォーム研究拠点」としてスタートします。



種子島全体のビヨンド・ゼロカーボンを目指すCo-JUNKANプラットフォーム研究拠点

B Lab 種子島

B Lab 種子島は地域システムを持続可能な形に変革すべく、地域再生を積極的に行います。全島民参画型「プラチナ社会」を形成し、特にSDGsの先にある「ESG」を実現します。つまり地域が自律的に行う取組が、環境・生態系保全、食料生産、雇用、地域の伝統・文化の持続的な発展というような豊かさだけでなく、ネットゼロカーボンの実現にもつながる、ビヨンド・“ゼロカーボン”社会の構築に必要な”CoJUNKAN”プラットフォームの開発・実装を行う拠点として、B Lab 活動を始めます。特に、「エネルギー資源を生み出す島」として、エコロジーで島民全員が参画し雇用が発生し心も物も豊かな地域社会のモデルケースとなるようなモデルを構成します。

■ B Lab 種子島 のオーガナイザー 乗浜誠司氏よりメッセージ

B Lab 種子島のオーガナイザーに乗浜誠司氏 (iU 専任教員、株式会社ナレッジコンスタント 代表取締役、種子島自然電力株式会社 代表取締役、一般社団法人ESG投資基盤整備機構 理事、東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員 他) が就任。以下、乗浜よりメッセージ。

B Lab 種子島のオーガナイザーに就任した乗浜誠司と申します。私は、種子島で生まれ中学生まで種子島で過ごしました。自然豊かなこの島の隅々まで遊んだ記憶があります。今でも同級生をはじめ知人・親戚も多数おります。父が中学の先生でしたので、教え子も多く、非常に親近感を持って接してもらえますので今後の事業の推進には励みになっています。2011年8月に西之表市に市有地の供与を受け「種子島自然電力株式会社」を設立し、1Mの太陽光事業をスタートした経緯もあり、2022年4月より東京大学未来ビジョンセンターの客員研究員に就任しました。東京大学と自治体とは、「包括契約」を締結し、大学・高校・島外内企業・各団体も参画した、大型プロジェクトです。私の役割は、「指針に基づいた実践」であり、今まで培ってきた人脈・経験・知識等生かしていきたいと思っております。皆さんのお力添えも是非宜しくお願いします。

■ B Lab の概要

Beyond, Borderless, Breakthrough の頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなで作るということ。お父さんもお母さんもおばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seeker になり、第2の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなで作ることを目指します。

<関連 LINK> <https://www.blaboratory.org/>

<B Lab 概要>

VISION

AI/IoT等の技術が代表するSociety5.0の入り口に立ち、新しいものを生み出す機関がほしい。そんな矢先に人類を襲ったコロナにより、with コロナ/afterコロナの新しい世界をつくるのが命題となっています。

これまで、国、大学もしくは企業の研究所が個別に対応してきました。しかし、高度なアカデミズムに立脚した専門性の高い研究機関とは別のアプローチが必要なのではないでしょうか。

ユーザー含め全てがつながり新しい社会を構築するようなラボ。
ソーシャルで、オープンで、参加型で、様々な知見や多くの人の得意技を融合させて、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生んでいくプラットフォーム・増殖炉をつくりたい。

テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項はデジタルテクノロジーで、社会実装で、みんなで作るとのこと。

ソーシャルで、オープンで、参加型な新しい研究所、B Labを開始します。



CONCEPT



おもしろい未来の創造

論文を書くだけでなくおもしろい未来をつくり、社会実装をすることを重視します。課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人とのマッチングの場でもあります。日常生活での工夫・発明や今までにない新たなビジネスの創出など、小さな創造から大きな創造まで、おもしろい未来をみんなで共創します。

世界中の大学・研究所のコミュニティ

世界100の研究所と連携し、組織の枠を超えたコミュニティを創出します。

世界各地がフィールド

バーチャル・リアル問わず世界各地にラボを設置します。

だれでも研究員

100万人研究員計画。おばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seekerになり、第2の研究員名刺を持ちます。

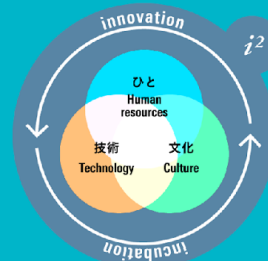
FOCUS

ITやAIなどの「技術」、
ポップカルチャーなどの「文化」、
そして「ひと」

3つの軸がイノベーションを起こし、
3つの軸をインキュベートし、さらなるイノベーションを
誘発する。

イノベーション×インキュベーション=I²
技術、文化、ひと。
みんなで作くり、そだてる。

B Labはそのための場、コミュニティ、ネットワークです。



PROJECTS AT HAND



B Lab 所長：石戸奈々子

(慶應義塾大学教授,
CANVAS代表, 超教育協会理事長)

東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。

総務省情報通信審議会委員など省庁の委員を多数歴任。NHK中央放送番組審議会委員、デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。

B Lab WEB SITE:

<https://blaboratory.org/>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

■学長



中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

- 1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年、MITメディアラボ客員教授
- 2002年、スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年、慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

■設置概要 ※2022年5月1日現在

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

- ・学生数：639名 ・専任教員数：28名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■基本構想

ビジネス×ICT×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL：03-5655-1555 E-mail：info@i-u.ac.jp